



令和5年度 青少年赤十字 国際交流事業



開催報告

青少年赤十字

第34号
発行 日本赤十字社
三重県支部
発行 令和6年3月

インドネシアのメンバーは、忍
者・アニメなどの日本の文化が大



ホストファミリーと県内観光
11月19日(日)

三重県支部での交流
支部受け入れプログラム
11月18日(土)

飯野高校・白子高校・久居農林
高校と青年赤十字奉仕団のメンバ
ーで歓迎会を行いました。アイス
ブレイキング・たこ焼き・MIXパ
ーティ(ホットケーキ)・活動交流
会を実施。その後、JRCメンバ
ー宅などでホームステイをしました。

インドネシアのJRCメンバー 3名と交流しました

この事業は日本赤十字社が主催する
国際交流事業です。国内外の青少年赤十字
メンバーが交流を深め、「持続可能な未来に
向けた青少年赤十字活動」というテーマの
もと、「気候変動と平和教育」についてどの
ようにリーダーシップを発揮できるかを、メン
バー同士の交流を通して学ぶことを目的
としています。
今年度は令和5年11月17日(金)から11
月26日(日)までの10日間開催されました。
インドネシア・シンガポール・タイ・香港・
韓国・ネパール・ベトナム・マレーシア・モン
ゴルから26名の海外JRCメンバーが参加し
ました。
三重県支部には、インドネシアのJRCメンバ
ー3名と引率者1名の4名が交流に訪れました。

紀南高校では、英語コミュニケー
ション・書道・茶道体験とJRC



紀南高校で交流授業
11月20日(月)



好きだったので、伊賀方面に観光
に出かけました。伊賀上野城・忍
者屋敷・風力発電施設などを見学
してきました。

白塚小学校では、ハイゼックス
で作ったご飯をおにぎりにして給
食と一緒にいただいたり、小学生



飯塚小学校5年生・
白子高校JRC部と交流会
マスジッド訪問
11月22日(水)

飯野高校では、国語・英語エッセ
イライティングの授業の後、JRC
メンバー・ESXメンバーによる
歓迎レセプションを行いました。
福笑いやけん玉といった日本の昔
からの遊びに触れ、お菓子を食べな
がら楽しく過ごしてもらいました。

メンバーとの交流会を行いました。
日本の高校の授業や文化を楽しく
学びました。



本社主催行事
International Meeting
「Tokyo 2023」
11月23日(木)～11月26日(日)



と走り回ってゲームをして楽し
ました。午後からは、近くのマス
ジッドを訪れてお祈りの時間も
三重大学留学生とも交流を持ちま
した。その後、白子高校JRC部
との交流会を実施。書道体験やお
菓子を食べながら交流を深めるこ
とができました。

中学校 「防災プログラム」



幼稚園 「きけんはっけん」



小学校 「炊き出し実習」



出前授業紹介
本年度の出前授業は、幼稚園・
保育園・こども園で8園。小学校
12校、中学校7校、他2団体計29
回出前授業をさせていただきました。
148名の園児・児童・生徒さん
と学ぶことができました。ありが
とございました。出前授業内容
はプログラムの中から、小学校低
学年までは⑥きんもくいきるた
めに⑦きけんはっけん(手洗い
チェックなど)、小学校中学年以
上は③国際人道法と7つの原則④
赤十字・青少年赤十字について⑤
防災教育プログラム(非常食炊き出
し実習)⑥救急法などを行いました。

三重県青少年赤十字
活動報告

令和5年度三重県青少年赤十字 中学校連絡協議会 国際交流会

— ベトナム、ネパール、スリランカの方々と交流 — (令和5年12月9日(土))



令和5年度の「中学校連絡協議会 国際交流会」には8校・28名の中学生が参加。生徒会活動に関して活発に意見を交換したり、ベトナム、ネパール、スリランカの三重日本語学校生たちと交流を行うなど、さまざまな気づきを得られる時間となりました。

生徒の声
青少年赤十字の態度目標を
頭に入れて行動するように
心がけました。留学生の方
やグループの仲間との交流
を通して、大事なのは、「今、
私がすべきことに気づき、実
行すること」だと思います。

生徒会活動交流会

8校の生徒たちがそれぞれの学校の生徒会活動の取り組みや工夫を發表。いじめ防止のためのピンクシャツ運動やあいさつ運動、環境保護活動や老人ホームへの年賀状など、さまざまな取り組みが報告されました。生徒たちからは、他校の生徒との意見交換を通じて、自校の今後の取り組みに生かしていこうという積極的な姿勢が見られました。

ベトナム

違う国の文化との共通点や
違いを知ることで理解が深まり、
おたがいを認め、受け入れ合う
大切さを学びました

スリランカ

相手と自分との違いを
認識し合って、おたがいの
個性を認め、受け入れ合う。
それがこれからの社会や人
との関わり方にとって大切
なことなんだと、あらため
て気づかれました。

ネパール

今まで遠くに感じていた国々が意外と
身近に感じられる存在であることに気づ
くことができました。

ネパール

自分だけでは思いつくことが
できないような取り組みを数多く
知ることができました。他校の
生徒から質問を受けたり話し
合うことで、自分の学校の新た
な課題に気づく点もありました。

参加校 津市立西橋内中学校・津市立みさとの丘学園・津市立久居東中学校・津市立橋北中学校・津市立豊里中学校・津市立一身田中学校・津市立久居中学校・三重大学付属中学校

編集後記
令和5年度はコロナ禍を経てこれまで取り組んで
きた行事が再開し、3年・4年ぶりの開催という取
り組みが多くあり、丁寧な打ち合わせや準備が必要
な年でした。3年前とは学校環境が大きく変化し
ていることもあり、そのまま戻すこともできない状
況でした。その中で、青少年赤十字の取り組みに「理
解と協力をいただき、心より感謝申し上げます。
隔年開催をした本社主催の国際交流事業も実
に5年ぶりの開催でした。三重県は、インドネシア
の高校生3名と三重県内の高校や小学校で交流をさ
せていただきました。言葉の壁があっても、心を通
わせ、おたがいの良さを学び合える児童・生徒の姿
を肌で感じ、国際的に繋がることで世界の課題も解
決できるのではないかと実感した次第です。
令和6年度は、日本赤十字社・三重県支部新社屋が
サイエンスシアターに完成する予定です。青少年赤
字活動のセカンドステージとして、新しい取り組み
を展開してまいります。

3年生を送る会を開催しました
2月10日(土)、第3回三重県高等学校連絡協議会
を県立本木高校で開催しました。高等学校連絡協
会のリーダーとして、中心となって進めてきていた
だいた3年生の卒業を祝って「3年生を送る会」とし
て開催。白子高校・本木高校・紀南高校・東紀州く
ろしお学園の生徒31名が参加しました。
アイスブレイキングの後、各校の取り組みを交流
し、厚食をはさんで3年生を送る会を開催。楽しい会
食パーティー形式で3年生を応援してゲーム
をして楽しみました。卒業を
迎える3年生からは、「JRC
の「気づき・考え・実行する」
の態度目標は色々なところで
役に立つので、がんばってく
ださい」とのエールが送られ
ました。
本木高校3年リーダーとし
て活躍した中田華蓮さんは
「リーダーとしての活動を
経験して、大きく成長できた
と思います。そしてなにより
とても楽しかったです」と活
動を振り返っていました。

令和4年度 JRC100周年記念事業の
告知放送時の写真(三重テレビ放送)

令和5年12月16日(土)

令和5年度 三重県青少年赤十字のつどい

令和5年12月16日(土)、鈴鹿ハンター1階センターコートで「三重県青少年赤十字のつどい」が開催されました。6校49名のJRCメンバーの高校生たちが自分で考えたイベントブースを出展。参加者同士の交流を深めたり、家族連れを中心とした来場者にイベントを楽しんでもらい、赤十字の活動への理解を深める貴重な機会となりました。

作品作りを楽しむ子どもたちの笑顔にあふれたブースになりました。

バルーンアート体験 木本高校

17名のJRCメンバーが参加し、イベントブースではバルーンアート体験を実施。子どもたちと楽しく触れ合う時間になりました。活動発表の場ではステージでバルーンアートの1分間チャレンジに挑戦し、日頃の練習の成果を披露しました。

日頃、JRCの部活動として学校行事や地域行事、施設訪問などを通じて青少年赤十字の活動に取り組んでいる6校の生徒たちが顔を揃えた「三重県青少年赤十字のつどい」。今年度は鈴鹿ハンターでの開催となりました。

会場内では各校がそれぞれイベントブースを出展し、バルーンアートや缶バッジづくり、射的など、趣向を凝らした内容で訪れた来場者の皆さんに楽しんでいただきました。また、ステージでは玉垣小学校・神戸小学校の子どもたちが金管バンド演奏を披露。堂々としたパフォーマンスは見応えたっぷりでした。

午後からはJRC加盟校各校の活動報告の時間に。各校の活動内容の特徴が伝わってきました。その後、青少年赤十字国際交流事業の参加報告や、NHK海外たすけあい募金への感謝状贈呈などを経て閉会。

同じ思いを抱いて活動する高校生同士の交流を深めるとともに、日頃の活動の成果を多くの人たちの前で披露し、今後の活動の励みとする機会となりました。

クリスマスオーナメント作り 飯野高校

4名のJRCメンバーが参加し、来場者にクリスマスオーナメント作りを楽しんでもらいました。イベントブースは終始子どもたちの笑顔があふれる場所に。活動発表の場では年間を通じて取り組んでいるボランティア活動を報告しました。

生徒の声

ショッピングセンターのように大勢の人が集まる場所で活動報告をするのは初めての経験で少し緊張しました。他校の活動内容や国際交流事業参加報告など、今まで知らなかったことがたくさんあって、興味深く聞かせてもらいました。

正月飾り・クリスマス飾り販売 久居農林高校

2名のJRCメンバーが参加。手作りの正月飾りとクリスマス飾りをブースに並べて販売しました。綺麗に飾った作品の数々を、足を止めてじっくりと見入る来場者の姿も。活動発表ではステージでハンドベル演奏を披露しました。



生徒の声

学校ごとの活動報告で、他の学校が日頃どのような活動に取り組んでいるのかを詳しく知ることができたのが一番の収穫です。今後の自分たちのJRCの活動に生かしていければと思いました。

真剣な表情で射的や輪投げに集中する子どもたちの姿が印象的なブースでした。

生徒の声

思っていたより多くの人たちで賑わってびっくりしました。色々な準備を重ねて本番当日を迎えましたが、準備した通りにブースでの活動ができ、活動報告も落ち着いて行うことができました。

☆☆☆

生徒の声

自分たちで制作した作品を販売するのはとても新鮮に感じました。来てくださったお客さんに声をかけてお話ししたり、楽しい時間を一緒に過ごすことができ、良い経験になったと思います。

缶バッジづくり、拡大教科書・ヘルプマークの啓発 紀南高校・東紀州くろしお学園

2校合わせて3名のJRCメンバーが参加。ブースでは缶バッジづくりや拡大教科書、ヘルプマークの啓発を行いました。子どもたちに工作を楽しんでもらうとともに、多くの人に拡大教科書の魅力を知ってもらう機会にすることができました。

日頃の活動の一端を来場者の皆さんに知ってもらおうことができました。

射的・輪投げ 白子高校

22名のJRCメンバーが参加し、射的や輪投げといった昔ながらの遊びの場を提供。目を輝かせて鉄砲を構える狙う子どもたちを見守る保護者の皆さんの笑顔が印象的でした。活動発表では白子海岸での海岸清掃の様子などを報告しました。

小学校金管バンド演奏

11時から鈴鹿市の玉垣小学校・神戸小学校の子どもたちがステージで金管バンドの演奏を披露。迫力ある演奏に、会場の外にいた人たちまでも足を止めて聴き入ってくれました。

募金活動・感謝状贈呈



当日は白子高校、木本高校の生徒たちが鈴鹿ハンター入口に立ち、NHK海外たすけあい募金への協力を呼びかけました。多くの方に募金をしていただきました。ありがとうございました。